

根本山～熊鷹山山行報告

【山行日】2019年3月31(日) 晴時々雪

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、安西、大西、小松原、
島田、清水、鈴木ヒ、関、鶴見、福島、福田久、
藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=登山口 P7:15/7:30
～不死熊橋 7:45～籠堂跡 9:30～奥ノ院 10:00～根本
山 10:45/11:00～三差路 11:40～熊鷹山 12:05/12:45
～林道 13:25～登山口 P14:15/14:25=梅田ふるさとセンター14:40/15:00=あわしま堂 15:20/15:50
=岩舟支所 P16:15

B班: 登山口 P7:30～尾根コース登山口 7:50～根本山 9:20/9:30～熊鷹山 10:30/12:45

去年4月に同じコースを計画したが、登山口手前から激しい雨が降り、クサリ場の登りが危険なので中止にした。今回はリベンジ山行で根本山沢コースから熊鷹山へ登る計画を立てた。



沢コースが苦手な4名は尾根コースを登り、2班に分かれて登り熊鷹山山頂で合流することにした。梅田ふるさとセンターでトイレを済ませ、登山口駐車場に着いたら準備をし、ストレッチを行って出発する。不死熊橋を渡った所が沢コースの登山口で、急な岩場をクサリで登って行く。尾根コースのB班は林道を直進し、尾根コースの登山口に向かう。沢コースのクサリ場を登り切ると、沢の左岸を高巻いて進みしばらく進むと護岸の石積みを降りて右岸に渡る。またすぐに左

岸に渡って、山肌を登って高巻く道を進む。再び沢に降りて沢の中を進み、高巻と渡渉を繰り返しながら高度を上げて行く。雑木林の沢はとても美しく、疲れた体を癒してくれる。やがて石祠や石碑が並ぶ籠堂跡に出て、少し登ると沢が二股に分かれる。男坂と女坂の標識があり、左の沢に進み女坂を登って行く。大きな岩がゴロゴロした沢の中を登り、やがて沢を離れて右に登って尾根上に出ると、岩稜の上に神社が建っている。神社をあとに、クサリ場が連続する痩せた尾根を急登する。ここからが沢コース一番の難所で、昨夜の雨で滑りやすい岩場をクサリを頼りに登って行く。次から次にクサリ場が連続し、2番手のA西さんはまいった様子。



さらに寒冷前線の通過で雪が舞い始め、岩が濡れて滑りやすくなる。何とか登り切り峰の平のピークに着くと、雪が激しく降り吹雪のような状況になる。休憩して果物や水分を補給し、疲れた体を休める。ここからは鎖場などの危険箇所は無いが、急な下りを慎重に下り、登り返してからトラバース道を進むと尾根コースと合わさる十字路に着く。左に尾根を登ると、ほんの一息で根本山山頂に着く。



山頂は眺望が乏しいが雑木林で明るく、大休止してデコポンや菓子などを食べ疲れた体を休める。予定よりも遅れたので、B 班に連絡を入れるが携帯が圏外で連絡が取れない。記念写真を撮ったら出発し、山頂から尾根通しに東に下り熊鷹山へ向かう。

まもなく十字路からの巻道を合わせ、鳥居と台座を残す広い根本神社跡を通過する。やがて左から

氷室山からのコースを合わせる三差路に出て、右折して熊鷹山への道を辿る。少し下り、ブナなどの巨木が林立する明るい笹の尾根を緩やかに下って行くと、O 西さんが迎えに降りて来てくれた。

皆さんをO嬢に任せて、我輩は急ぎ足で熊鷹山へ向かった。山頂に着くとB班のメンバーが首を長くして待っており、早速うどんを作り始める。全員揃ってランチタイムとし、温かいうどんとおはぎ、出汁巻き卵、ピーナッツ味噌等を美味しくいただいた。



食べている間は暖かかったが、食べ終わると曇っ



てきて風が強くなる。急いで後片付けをし、記念写真を撮ったら下山する。山頂から南に尾根を下り、途中から右に曲がって降りて行くと林道に出る。林道に出ると皆さん安心し、おしゃべりをしながら50分下ると駐車場に着く。靴を履き替えたなら車に乗り、帰路につく。途中、梅田ふるさとセンターに寄り、トイレと買い物をして「あわしま堂」へ向かった。佐野市にある「あわしま堂」はお菓子の製造メーカーで、工場内に直売所や喫茶コーナーがあり休むのに便利な所。和菓子やどら焼きなどがお手

頃な価格で購入でき、喫茶室では無料でお茶やコーヒーが頂ける。お土産を買いコーヒーをいただいたら帰路につき、予定よりも少し遅れたが無事に岩舟支所に帰着した。